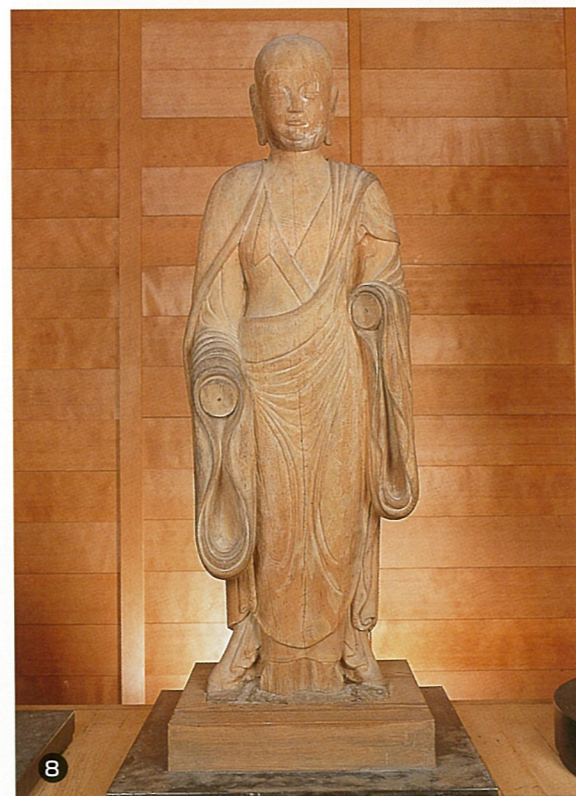




写真⑥⑦⑧ 浮嶽神社(吉井)に安置される3軀の木造像(カヤ材)。ともに国指定重要文化財となっています。写真⑥は木造如来形立像で、像高175.5cm。平安初期彫像の特徴が見られ、時期は9世紀半ばごろと考えられます。写真⑦は薬師如来と伝称される木造仏坐像で、像高90.3cm。写真⑧は木造地藏菩薩立像で、像高180.2cm。他の2軀とは別の仏師の手によるもので、時期は9世紀後半と考えられます。

写真⑨⑩⑪ 3軀ともに福岡県有形文化財の指定を受けています。写真⑨は、龍国寺(波呂)所蔵の木造阿難尊者立像。像高45.8cmでヒノキ材によるもの。南北朝時代に京都地域の仏師によって造立されたと考えられます。写真⑩は、聖種寺(上深江)所蔵の銅造如来形坐像。銅鑄造で像高72.5cm。仏名は、寺伝では釈迦如来とされ、高麗時代14世紀前半の特徴が観られます。写真⑪は、大法寺(福井)所蔵の木造薬師如来立像。クス材で、像高154.8cm。地域では、馬に乗ったままその前を通ると落馬するため、通行人が馬を下りて拝んでいった「落馬薬師」としての伝説が語り継がれています。全貌から平安時代後期に造立されたと考えられます。



写真①② 一貴山の仁王門に安置されている高さ3mほどの仁王像。威容を放っています。右は「阿形」、左は「吽形」の木造金剛力士像(町指定有形文化財)です。

写真③ 塚田南遺跡・万葉公園。古代の深江駅家想定地。平成11年(1999)に公園として整備しました。

写真④ 鎮懐石八幡宮の万葉歌碑。安政6年(1859)6月に建立された、九州で最も古い万葉歌碑です。

写真⑤ 方格規矩四神鏡(一貴山銚子塚古墳)。国内でも数面しか見られない金メッキが施された青銅鏡。

